

様式 em00-01

株式会社 サンコム

2016年度 環境活動レポート

対象期間 2016年6月～2017年5月



発行日 2017.8.1

株式会社 サンコム

環境方針

基本理念

私たちは、身近な場所の整理・整頓・清掃から取組をはじめ、環境破壊への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、深刻化する地球温暖化や、今後予測される地下資源の枯渇への課題解決を念頭に、調査、測量、設計、施工管理などのコンサルティング活動において、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組むことを目指して、ここに環境方針を定めます。

行動方針

(1) クリーンアップ作戦

当社は、早朝15分間を全社クリーンアップタイムと定め、全社員で社屋及び周辺のクリーンアップ活動を行い、地域の環境保全に努めます。

(2) 省資源・省エネルギー活動の推進

エコアクション 21 環境経営システムを構築・運用しあらゆる事業活動を通じて環境負荷の低減に努めます。具体的には、社内の整理・整頓・清潔・清掃に留意し、特に、CO₂削減の推進として、アイドリングストップを心がけ、急発進、急停止を行わないよう、エコドライブにより環境負荷低減を推進します。また、事業活動における電気・紙・水道、ガス等の使用量の削減により環境負荷低減として、CO₂排出量の削減に努めます。

(3) 環境に配慮した測量設計の推進

測量設計段階において、自然生態系に優しく、廃棄物を出来る限り少なくし、施設の長寿命化など、環境に配慮した測量設計を提案し、実現に努めます。特に、廃掃法、河川法、土地改良法、森林法、建築基準法、環境影響評価法等での環境配慮を行うとともに、規制等の適用を受ける場合は関係法令を熟知し法遵守に努めます。

(4) 事務用品のグリーン購入とリサイクルの推進

省資源活動の一つとして事務用品のグリーン調達としてリサイクル品の購入、使用を徹底し環境負荷低減を推進します。

(5) 廃棄物の削減・分別処理

社内から出る廃棄物を最小化するよう努力し、リサイクルごみと一般ごみに分別処理を行います。

(6) 排水量の削減

社内で使用する水量を削減します。

(7) 環境関連法規等の遵守

環境関連法規等を遵守します。

制定：2008.11.15

改定：2015. 7. 1

代表取締役社長

松本 道彦



1 組織の概要及び対象範囲・期間

(1) 事業者名及び代表者名

株式会社 サンコム

代表取締役社長 松本 道彦

(2) 所在地

本社 〒679-4003 たつの市揖西町小神162番地6

姫路支店 〒670-0955 姫路市安田4丁目52番15

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 松本 靖吾

担当者 取締役 見手倉 幸雄

連絡先 TEL(0791)63-1533 e-mail mitokura@kk-suncom.co.jp

(4) 事業内容

調査・測量・設計・施工管理の建設設計コンサルタンツ

(5) 事業の規模

製品の出荷額 1.8億円/2016年度

従業員 19名(2017年5月31日現在)

事業所延べ床面積 本社 486m²

姫路支店 150m²

(6) レポートの対象期間

当該年6月1日～翌年5月31日

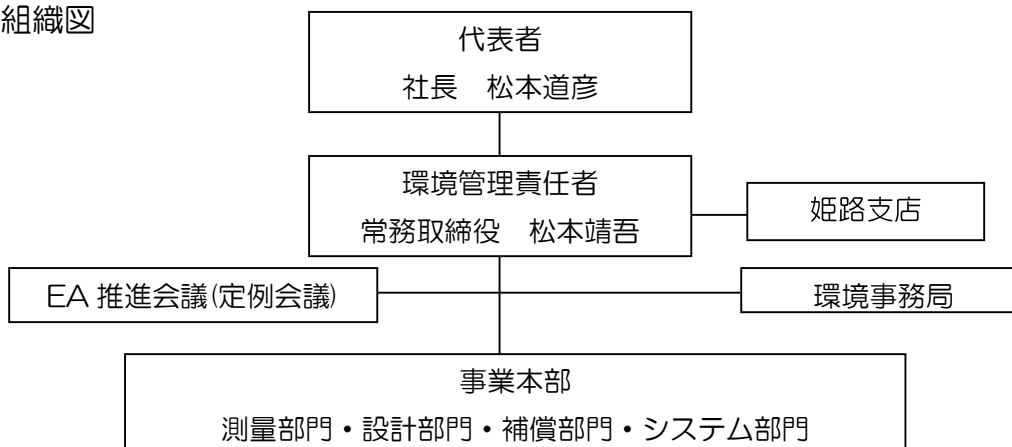
(7) エコアクション21対象範囲

事業所：株式会社サンコム本社及び姫路支店

活動内容：上記(4)に同じ

2 EA21 環境経営システム実施体制

2-1 組織図



環境配慮検討会：社長、環境管理責任者、環境事務局長、各部門長

2-2 役割・責任・権限

役割・責任・権限											
社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施及び管理に必要な人・設備・費用を用意 環境管理責任者を任命 環境方針の策定 見直し及び全員への全社周知 環境目標の設定を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施・環境活動レポートの承認 										
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築・実施・管理 【承認】法規制等の要求事項登録簿、環境活動実施計画書 【報告】環境活動の取り組み結果及び環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 										
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 【作成】環境への負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェック表、法規制等登録簿(遵守評価記録)、環境目標・環境活動実施計画書原案、環境活動実施計画書の実績集計表、環境レポート(公表含) 【窓口】環境関連の外部コミュニケーション 										
部門長	<table border="1"> <tr> <td>管理</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 </td> </tr> <tr> <td>測量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 </td> </tr> <tr> <td>設計</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 </td> </tr> <tr> <td>補償</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況報告 </td> </tr> <tr> <td>システム</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態対応の手順書作成とテスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防措置 </td> </tr> </table>	管理	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 	測量	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 	設計	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 	補償	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況報告 	システム	<ul style="list-style-type: none"> 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態対応の手順書作成とテスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防措置
管理	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 										
測量	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境方針の周知 										
設計	<ul style="list-style-type: none"> 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 										
補償	<ul style="list-style-type: none"> 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況報告 										
システム	<ul style="list-style-type: none"> 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態対応の手順書作成とテスト・訓練・記録 自部門の問題点の発見、是正、予防措置 										
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動への参加 										
環境配慮検討会	<ul style="list-style-type: none"> EA21 環境システムの効果的な運用及びチェック 										

3 環境目標

作成 H29.8.1

環境項目	2017 年度環境目標値	達成方法
電力使用量の削減 単位:kWh	基準年 2006 年度 64,400kWh 消費電力の 7%4,400kWh を削減 2017 年目標値 60,000kWh 対前年削減量△600kWh	①不要時照明の消灯 ②クールビズ・ウォームビズ運動 ③パソコン未使用時の電源 OF
ガソリンの削減 単位:リットル	基準年 2006 年度 18,500ℓ 7%削減 1,300ℓ 2015 年目標値:17,200ℓ 対前年削減量△200ℓ	①急加速の抑制 ②冷暖房の控えめ使用
二酸化炭素排出量 単位:kg-CO ₂	基準年 2006 年度 65,700kg-CO ₂ 排出量の 7%4,600 kg-CO ₂ 削減 2017 年目標値 61,100 kg-CO ₂ 対前年削減量△200 kg-CO ₂	電力、ガソリン使用量節減
一般廃棄物の削減 単位:kg	基準年 2006 年度 270kg 12%削減 30kg 2017 目標値:222kg 対前年削減量 2kg	①整理、整頓、掃除の実施 ②裏面の使用
省資源節水 単位:m ³	基準年 2006 年度 270m ³ 7%削減 18m ³ 2017 目標値:252m ³ 対前年削減量 2m ³	①節水運動 ②節水方法を話し合い目標達成
コピー用紙の節減 単位:kg	基準年 2006 年度 580kg 7%削減 40kg 2017 目標値:540kg 対前年削減量 5kg	①ミスコピーの防止 ②コピー用紙節減方法を話し合い 目標達成
グリーン購入	基準年 2014 年 75 品目 2017 目標値:75 品目 確実な実施	①グリーン購入品の一元管理、徹底

4 環境負荷の実績

項目	単位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	65,756	59,529	69,524	70,291	69,308	63,836	56,294	59,644	53,494	48,746	47,881
電力使用量	kWh	64,400	57,304	57,003	57,377	59,452	49,713	51,483	50,097	39,628	34,498	36,594
ガソリン使用量	ℓ	18,464	14,527	18,895	19,155	18,329	17,860	14,269	14,556	14,234	13,626	12,806
廃棄物排出量	t	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.24	0.22	0.23	0.23	0.22	0.22
一般廃棄物	t	0.27	0.27	0.27	0.27	0.27	0.24	0.22	0.23	0.23	0.22	0.22
産業廃棄物	t	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コピー用紙使用量	kg	578	742	422	279	383	352	704	770	557	484	550
総排水量	m ³	272	247	226	245	255	220	217	213	257	226	200

購入電力の二酸化炭素排出係数：0.496kg-CO₂/kWh (2015年度関西電力㈱)

5 環境目標及びその実績

項目		年度		2016年度			2017年度	2018年度	2019年度
		2006年度 (基準年度)	2015年度 実績	目標	実績	達成率%	目標	目標	目標
電力使用量の削減	総量(kWh)	64,400	34,498	60,600	36,594	165.6	60,000	59,200	58,600
ガソリン使用量の削減	総量(ℓ)	18,500	13,626	17,400	12,806	135.8	17,200	17,000	16,800
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	65,700	48,746	61,800	47,881	129.0	61,100	60,400	59,700
一般廃棄物の削減	総量(t)	0.252	0.22	0.22	0.187	109.0	0.22	0.22	0.22
節水	総量(m ³)	270	226	254	200	127.0	252	251	245
コピー用紙使用量の削減	総量(kg)	580	484	545	550	113.3	540	533	527
グリーン購入の推進	品目数	-	75	75	75	99.1	75	75	75
環境配慮	検討会の実施	-	1	1	1	100.0	1	1	1

6 環境活動の取り組み活動と評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまり出来なかった ×全く出来なかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力の削減		
・省エネ目標意識の共有	○	研修会で省エネ手順書を説明し討論した
・保温ポットの廃止	○	保温ポットを廃止し、瞬間ポットとして節電
・クールビズ、ウォームビズ運動	○	クールビズ、ウォームビズの徹底、営業以外はできている
・冷房28℃、暖房20℃	○	冷房・暖房とも完全実施
・照明設備のLED化	○	全社屋LED化
ガソリン使用料の削減		
・走行時の危険予測	○	ヒヤリハットの回数を朝礼・会議の場で話し合い削減する
・急発進、急停止防止運動	○	ほぼ徹底出来ている
・冷房27℃以上励行	△	車種によっては設定できないものもあるがクーラー使用を節減
一般廃棄物の削減		
・整理、整頓、掃除の実施	○	毎朝のトイレ、社内の掃除、毎月の社屋周辺の掃除を実施
・水筒の持参	○	ほぼ実施出来ている
・マイ弁当運動	○	単身者以外はほぼ実施出来ている
節水		
・節水の目標、方法説明	○	研修会で説明し呼びかけた
・節水の呼びかけ	○	同上
・節水方法の工夫	○	同上
コピー用紙使用量の削減		
・コピー用紙節減の徹底	○	コピー機を更新、パスワードで使用枚数管理
・節減方法の工夫	○	検証、チェックでは裏面の利用を徹底
・両面コピーの推進	○	両面コピーはほぼ徹底出来ている
グリーン購入の推進		
・グリーン購入目標の説明	○	研修会により徹底を図った
・グリーン商品リストの更新	○	75品目にリスト更新し管理を徹底
・グリーン商品使用の徹底	○	徹底されている
環境に配慮した業務推進		
・環境に配慮測量設計項目の点検	○	ため池、里山整備で環境配慮設計を提案した。
・クリーンアップ作戦	○	社屋及び周辺のクリーンアップ
総括		
<p>社屋及び周辺区域のクリーンアップ、環境保全活動に取り組むことは、会社の利益、社員の利益ひいては社会全体の利益に貢献するものであり、火災防止、交通事故防止などの基本事項を明確にし、継続的に取り組むことによって、さらなる効果発現が期待されるものであり全社一丸となって自主的・積極的にとりくむこととする。</p>		

7 環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
 当社の法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

適用される 法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価	
廃掃法	・ 野外焼却の禁止(焼却炉)	遵守	
	・ 一般廃棄物の適正処理 一般ゴミ：龍野衛生公社 粗大ごみ：揖龍クリーンセンター リサイクルゴミ：西日本衛材	遵守	
測量法	・ 測量業における営業所ごとの測量士の配置、登録	遵守	
設計上 配慮す べき法 規則	廃掃法	・ 汚泥、廃油、廃プラ、建設紙くず、コンクリート破片、がれき類などが発生し処理する設計にあたっては産業廃棄物として適正処理ができるように設計計画する。	・ ため池整備計画でのヘドロのセメント安定処理により盛土に流用
	河川法	河川環境を維持・保全するため、従来のコンクリート主体の護岸工事の修正、ダム の河川維持放流の義務付け、河川生態系や植生の保護・育成など河川管理の目的に合った設計。	・ 中坪川の改修設計に際して、魚道、在石(玉石30cm内外)利用などコンクリートの使用を軽減した設計を行った
	土地改良法	法第8条第4項第1号で定める事業の施行に関する基本的要件の具体的な内容「当該土地改良事業が環境との調和に配慮したものであること」	・ ほ場整備調査設計で希少植物、生物の環境調査を実施し設計に配慮した。
	森林法	全国森林計画は、環境基本法（平成五年法律第九十一号）第十五条第一項の規定による環境基本計画と調和するものでなければならない。森林法第四条4	・ 里山防災林整備計画において、環境調査を実施し、生物多様性に配慮した設計を行った
	建築基準法	内装、空調設備の設計にあたっては、建築基準法の適用条件に適合した設計を行う。	・ 該当する設計機会は無かった
	環境影響評価法	道路、河川、廃棄物最終処分場、埋立、土地 地区画整理など環境アセスメントが適用される工事の設計にあたり環境影響評価法を遵守した設計、計画書の策定を行う。	・ 該当する設計機会は無かった

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって違反や訴訟もありませんでした。

8 代表者による全体の評価と見直しとその結果

見直し年日：2017年6月1日

代表者氏名：代表取締役 松本 道彦

NO	項目	報告内容
1	環境目標の達成状況	電力、燃費向上、廃棄物、節水、グリーン購入、コピー使用量について全部門達成できた。ただし、コピー使用量については、目標を5kg上回ったが達成とみなすこととした。来期は要注意である。
2	是正処置・予防処置	2016年度において不適合事項は無かった。
3	法規制に関する情報	廃掃法、測量法、河川法、土地改良法に関しては該当事項に対して達成出来ている。
4	環境上の苦情・要請等	過去1年間苦情や要望は無かった
5	その他必要な情報	i) エコアクション21研修の実施 ii) 環境への取り組みとして早朝15分間のクリーンタイムを継続実施

□代表者による指示

NO	項目	変更の必要性		指示事項
		有	無	
1	環境方針		○	社内に掲示し浸透を図る
2	環境目標		○	全部門で目標達成できている。
3	環境経営システムのその他の要素		○	建設コンサルタントとして、環境配慮設計に関してより多くの機会を通じて提案できるように努める。

□代表者による総括

当社は、建設コンサルタントとして、自社活動による環境負荷の軽減、社会資本整備における環境配慮設計など次世代でのより良い自然環境を目指して、本取り組みの大切さを全社員で共有し積極的に取り組んできました。今後は、これまでの経験分野以上に業務範囲を拡大し環境負荷の少ない設計、業務等の提案を行う。

①早朝クリーンアップと新技術提案による環境配慮を進める

早朝クリーンアップの実施により、社内での環境コミュニケーションに役立っている。
会社周辺のゴミ拾い活動により地域に貢献する。

②火災、交通事故防止

火災・交通事故は環境及び社員の心身への負担が大きく、絶対に起こってはならないことを全員で共有する

以上